



# 強震動委員会

## 1996年5月発足以来の歩み

1996年～1998年 委員長：入倉孝次郎，幹事：武村雅之・飯田昌弘

- 1996年10月第3回委員会で調査班体制を確立
- 調査班1＝強震動観測や強震動プロジェクトの現状把握
- 調査班2＝強震動の研究成果の普及
- 調査班3＝強震動の研究成果の設計基準への反映
- 調査班4＝大地震緊急時の対応

1997年5月「川崎市震災対策システム見学会」を実施

1997年8月5～6日 日本地震学会シンポジウム「強震動予測による地震災害の軽減をめざして」を開催

1997年3月～1998年10月「強震動地震学基礎講座」(全9講)をニュースレターに連載

1998年～2000年 委員長：笹谷 努，幹事：武村雅之・飯田昌弘

- 1998年1月第11回委員会で調査班体制を見直し
- 調査班A＝平野部の地下構造の探査に関する調査および提案
- 調査班B＝自治体の強震動観測調査及び研究者とのネットワーク
- 調査班C＝強震動の研究成果の普及と解説書の出版
- 調査班D＝強震動予測の将来像の提案

1998年1月～2002年3月「強震動観測の最新情報」(全23回)をニュースレターに連載

1999年11月30日 日本地震学会研究討論会「より信頼度と精度の高い強震動予測をめざして」を開催

2000年～2002年 委員長：笹谷 努，幹事：横井俊明・山中浩明

- 2000年3月第23回委員会で調査班体制を再編成
- 調査班A＝強震動の将来像の策定
- 調査班B＝強震動観測及びデータ活用に関する将来の課題
- 調査班C＝強震動予測の研究成果の普及活動及び専門家向け解説書の出版
- 調査班D＝強震動予測の研究をどう生かすか

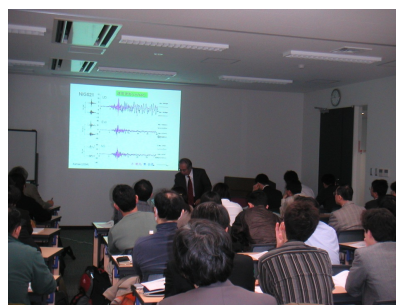
2001年9月25日 強震動観測ネットワークに関するシンポジウム「21世紀の強震動観測ネットワークとそのデータ流通をデザインする－鳥取県西部地震・苫予地震の経験を踏まえて－」を開催

2001年より、強震動講習会「強震動予測-その基礎と応用」を開催

## 強震動講習会

回	実施日	テーマ	( )は陽には示さなかったテーマ
1	2001/10/16	強震動予測-その基礎と応用	
2	2003/2/8	ハイブリッド強震動予測とその適用事例	
3	2004/2/24	(大阪の事例:大阪開催)	
4	2004/12/4	(実際の適用)	
5	2005/11/16	(ハザードマップ)	
6	2006/12/8	地震の揺れを科学する	
7	2007/12/4	(内陸地殻内地震)	
8	2008/12/3	(地下構造データと地震動評価)	
9	2009/12/4	(経験的強震動予測手法と緊急地震速報)	
10	2010/12/8	(活断層で発生する地震:空中写真判読実習)	
11	2011/12/16	長周期地震動のモデル化と2011年東北地方太平洋沖地震で得られた知見	
12	2012/12/11	地震動計算:理論と実習(座学とGMSを用いた有限差分法計算の実習)	
13	2013/12/16	地震動計算:理論と実習 その2-波数積分法による地震動計算	
14	2014/12/11	地震動計算の現状と課題,モデル構築の高度化に向けて	
15	2015/12/2	地震動計算・理論と実習(座学とGMSを用いた有限差分法計算の実習2)	

現在は日本地震工学会,日本活断層学会と共催



講習会の様子

2002年～2004年 委員長：額綱一起 ， 幹事：横井俊明・山中浩明

2002年7月第36回委員会調査班体制を組み替え  
 調査班A＝強震動研究とデータ活用の将来像策定  
 調査班B＝強震動研究成果の普及活動及び解説書の出版  
 調査班C＝強震動予測の研究成果と強震動予測情報の活用

2003年6月より、強震動研究会を開催

回	実施日	講師	講演タイトル	場所*
1	2003/6/4	松澤暢	海溝型地震とアスペリティに関する最新の研究(仮題)	
2	2004/1/7	遠田晋次	活断層情報から強震動予測は本当に可能なか? 疑問だらけの活断層評価	
3	2004/3/15	坪川博彰	自然災害とリスクコミュニケーション:保険者は何を求めているのか	
		水越薫	企業における地震リスクマネジメントの現状と課題	
4	2004/7/21	北村春幸	設計者の立場からの強震動と構造設計について 一性能設計における設計用入力地震動の考え方	
5	2004/9/30	中川和之	地震災害の本質を見抜けなかった私たち	
6	2005/1/19	増田徹	中央防災会議における強震動予測について	
7	2005/3/14	川島一彦	強震記録の利用と橋梁の耐震設計	
8	2005/7/25	安田進	強震動下での液状化の予測と対策に関する現状と問題点	
9	2005/9/28	藤原広行	全国を概観した地震動予測地図について	
10	2006/5/29	目黒公郎	地震防災上の最重要課題『既存不適格建物の建替えと耐震改修』を推進する環境整備について	
11	2006/10/30	東田進也	緊急地震速報一瞬を叩かれて、これから揺れますよと言われたら?—	名古屋
		座間信作	石油タンクのスロッシングに関する諸問題	
12	2007/1/11	阿部信太郎	地下構造調査に基づく震源断層評価の現状と課題	
13	2007/8/9	土方勝一郎	大加速度地震動と建物被害との関係の研究	
14	2007/10/23	中村操	歴史地震を考える	仙台
		吉田望	地震動伝播における地盤的非線形挙動の効果	

\*記載無しは東京。2012年函館大会は、一般公開セミナーと予定が重なったため実施せず。

5

強震動研究会

回	実施日	講師	講演タイトル	場所*
15	2008/10/7	佐藤比呂志	強震動予測のための浅部～深部地殻構造のイメージング	
		阿部進	地震探査の最近の技術的トピックスの紹介	
16	2009/2/17	高橋雅紀	関東平野の地質構造 ～やや長周期地震動を励起する関東平野の深部の構造の成り立ちについて～	
17	2009/10/20	竹村恵二	京都盆地の活断層と地下構造	京都
		岡田知己	近年の東北の地震活動～地震波トモグラフィからみた発生過程と地殻流体との関わり～	
18	2010/1/20	長郁夫	微動アレイ探査の限界と可能性 一般理論を切り口として	
19	2010/10/26	一井康二	能登有料道路と東名高速道路の地震被災地点の地震動推定 ～道路の被災想定に向けて～	広島
		隈元崇	中国・四国地方の活断層と内陸地殻内地震の危険度評価	
20	2011/2/1	泊次郎	日本の地震学の歴史と地震防災(強震動)研究	
21	2011/10/11	牛山素行	津波災害・豪雨災害と災害情報	静岡
22	2012/1/31	山田哲	突大鉄骨造建物の震動破壊実験	
23	2013/1/31	穴倉正展	古地震・古津波研究からわかること・わからないこと	
24	2015/10/6	大沼巧	衛星SAR差分干渉による地表変位検出	横浜
25	2014/2/3	松岡昌志	衛星リモートセンシングによる地震・津波被害の把握	
26	2015/11/23	田村圭子	防災・減災 新潟プロジェクト2014が目指すもの ～古きを温め、新しきを知る～	新潟
27	2015/2/10	中村孝明	地震リスクマネジメントの利用実態と今後	
28	2015/10/26	多賀謙蔵	関西地区における内陸直下地震に対する取り組みの現状	神戸

\*記載無しは東京。2012年函館大会は、一般公開セミナーと予定が重なったため実施せず。

年に1, 2回のペースで、委員会開催に合わせて関連他分野から講師を招いて研究会を実施し、一般にも公開している。

6

2004年～2008年 委員長：横井俊明 ， 幹事：岩田知孝・古村孝志

2005年より、地球惑星科学連合大会でのセッションを提案

大会セッション企画など

学会	年	セッション・タイトル	共催学会
地球惑星科学連合大会	2005	阪神・淡路大震災から10年:地殻内地震の強震動研究と2004年新潟県中越地震	
	2006	震源モデルと強震動	
	2007	首都圏の地震と強震動	
	2008	長周期地震動	
	2009	強震観測とデータの利活用	
	2010	兵庫県南部地震の教訓とその後15年の研究:進展と展望	活断層学会
	2011	地震動予測地図:関連する研究成果の融合と今後	活断層学会, 物理探査学会
	2012	2011年東北地方太平洋沖地震の強震動と地震災害	
	2013	南海トラフなどの巨大地震の強震動・津波予測	
	2014	微動探査の近年の発展	物理探査学会
2015	兵庫県南部地震から20年:活断層と強震動に関する研究の進展	活断層学会	
2016	K-NET運用開始から20年:強震観測網のこれまでとこれから		
地震学会秋季大会	2007	2007年新潟県中越沖地震, 2007年能登半島地震:地震発生から被害まで	
日本地震工学シンポジウム	2010	地震動予測地図	
	2014	超巨大地震による強震動と震源過程 活断層情報と強震動評価	

他学会との共同セッションを企画提案し、強震動研究を中心とした関連研究分野における議論の充実を図っている。

7

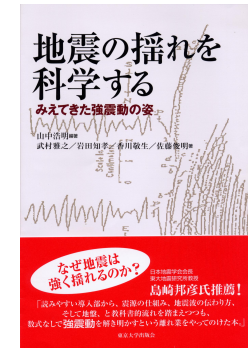
2006年5月第59回委員会調査班の役割を見直し  
 調査班A＝企画：春の連合大会または秋季大会の特別セッションを企画  
 調査班B＝普及活動：強震動予測に関する講習会を開催 & HP管理  
 調査班C＝研究会：強震動研究会を開催

以後、班長を交代しつつ、基本的な取り組みを継承。

出版

2006年「地震の揺れを科学する  
 —みえてきた強震動の姿—」  
 東京大学出版会(2006)を出版

その他、「地震」総合報告  
 特集号の強震動関連論文



2008年～2012年 委員長：岩田知孝 ， 幹事：古村孝志・香川敬生

2011年3月11日 東北地方太平洋沖地震

2012年～2016年 委員長：香川敬生 ， 幹事：竹中博士・畑山 健

2016年～ 委員長：竹中博士 ， 幹事：干場充之・畑山 健

8

www.mmjp.or.jp/kyosindo/kyosin.html

# 日本地震学会・強震動委員会

## ホームページの運営

このページは公益社団法人 日本地震学会 強震動委員会が管理・運営しています

### 最新情報・お知らせ

- 第100回強震動委員会を、3月4日(金) 14時30分より東京大学地震研究所にて開催します。日本地震学会会員の方はオブザーバ参加が可能です。
- 「強震動予測—その基礎と応用」第15回講習会の受講用資料をアップしました(受講者限定、パスワード付きです)。
- 10月26日に開催された第99回強震動委員会の議事録を掲載しました。
- 第28回研究会を10月25日(日) 18時30分より神戸国際会館で開催します。日本地震学会会員・非会員に限らずどなたでも参加できます(終了しました)。
- 「強震動予測—その基礎と応用」第15回講習会を12月2日(水)に開催します。詳細はリンク先をご確認ください(終了しました)。
- 「強震動予測—その基礎と応用」の、第1～8回の講習会資料が日本地震学会より頒布されることになりました(各1,000円、送料別) 詳しくは地震学会ニュースレター(Vol.22, No.2)をご覧ください また過去の講習会資料目次はこちらをご覧ください。
- 強震動委員会委員による著作「地震の揺れを科学する—みえてきた強震動の姿—」が東京大学出版会より刊行されました
- 2006/8 HPの運営管理が広報委員会から強震動委員会に移管され、同時にページがリニューアルされました

### 第100回強震動委員会のお知らせ

[「強震動予測—その基礎と応用」第15回講習会のお知らせ\(終了しました\)](#)

### 第28回研究会のお知らせ(終了しました)

[強震動地震学基礎講座](#)  
[強震観測の最新情報](#)  
[強震動研究関連サイトのリンク集](#)

### 過去の活動・議事録

- [強震動委員会議事録\(1996年～2015年\)](#)
- [研究会のお知らせ\(過去ログ\)](#)
- [強震動講習会\(過去ログ\)](#)
- [強震動講習会資料バックナンバー目次](#)
- [地震災害調査情報交換ボード\(過去ログ\)](#)
- [活動報告:「川崎市震災対策支援システム見学会」\(1997年5月\)](#)
- [地震学会シンポジウム「強震動予測による地震災害の軽減をめざして」の報告\(1997年8月\)](#)

[地震学会HPへ戻る](#)

9

www.mmjp.or.jp/kyosindo/kyosin.html

- 「強震動予測—その基礎と応用」の、第1～8回の講習会資料が日本地震学会より頒布されることになりました(各1,000円、送料別) 詳しくは地震学会ニュースレター(Vol.22, No.2)をご覧ください また過去の講習会資料目次はこちらをご覧ください。
- 強震動委員会委員による著作「地震の揺れを科学する—みえてきた強震動の姿—」が東京大学出版会より刊行されました
- 2006/8 HPの運営管理が広報委員会から強震動委員会に移管され、同時にページがリニューアルされました

### 第100回強震動委員会のお知らせ

[「強震動予測—その基礎と応用」第15回講習会のお知らせ\(終了しました\)](#)

### 第28回研究会のお知らせ(終了しました)

[強震動地震学基礎講座](#)  
[強震観測の最新情報](#)  
[強震動研究関連サイトのリンク集](#)

### 過去の活動・議事録

- [強震動委員会議事録\(1996年～2015年\)](#)
- [研究会のお知らせ\(過去ログ\)](#)
- [強震動講習会\(過去ログ\)](#)
- [強震動講習会資料バックナンバー目次](#)
- [地震災害調査情報交換ボード\(過去ログ\)](#)
- [活動報告:「川崎市震災対策支援システム見学会」\(1997年5月\)](#)
- [地震学会シンポジウム「強震動予測による地震災害の軽減をめざして」の報告\(1997年8月\)](#)

**ここに設立当初からのほぼ完璧な過去ログが遺されていたからこそ、今回の発表を準備することができました。関係各位に感謝します。**

[地震学会HPへ戻る](#)

10

# 強震動委員会

## 委員会がめざす方向について (自由討論)

- 委員会の今後のありかた
- 活動方針
- 新たな取り組み
  - ・ NLでの新連載
  - ・ 「なみふる」での新連載
  - ・ 原子力発電関連への取り組み

11